

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人
礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。



久しぶりのお出掛けで、喜んでいる子ども達!この乗り物は、トゥクトゥクといひます。乗る前には、必ず値段交渉が必要です。(カンボジア孤児院)

皆様の御支援・御協力、いつもありがとうございます。

今年の日本は、記録上最も早い梅雨明けの地域が多かったそうです。その結果、水不足の地域も多く、全く農業ができない地域もあったようです。

今だ続くロシアとウクライナの問題とともに、日本では気象変動の問題が決して小さくありません。今までにないような、色々な形での問題が噴出し、それに伴い日本の経済、国民の生活にも大きな影響を与えています。いや、日本だけではなく、世界中の国々、世界中の人々においても、様々な問題による困難が多々発生しています。

このような中で、やはり一番影響・被害を受けるのは弱い立場の子供達です。

そのような観点から、従来と異なる理由で孤児が生まれてくる時代と言っても過言にはならないでしょう。

ただ、どのような理由でも、孤児がいるなら一人でも多くの孤児に手を差し伸べていきたいと思ひます。

さらに多くの子供達を受け入れるために、さらなる施設や人材が必要となります。

どうぞこれからも、皆様の御支援、御協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。2人の子ども達に通っている学校は、新学期が9月から始まっているので最後の後期試験が行われて、その結果やいろいろな課題に関して話があるということで学校から父兄へ連絡がありました。孤児院からはスタッフ1人が先生に会って話を聞いてくる事が出来、試験の結果は2人共に合格!9月からは6年生と3年生に進級して学ぶ予定です。苦手な科目がそれぞれにあるようなので、孤児院内でも出来るだけサポート出来るよう対応を取りたいと思っています。雨季に入り、6月は豪雨の日が続きましたが、昨年後半から電動ポンプを購入し使っています。それでも雨量がすごいのか、並行して年上のお兄ちゃんたちがバケツで外に水を汲出す手伝いをしてくれました。また、船便でご支援の品々を送って頂き、大変感謝しています。最近は何物の受取りが厳しくなり、箱の大きさや重量・内容物の価格によっては税金がかかるのですが、毎回チェックが入る度にOKということで持ち帰りが出来ています。皆様からの継続したご支援の数々を、心から感謝致します。

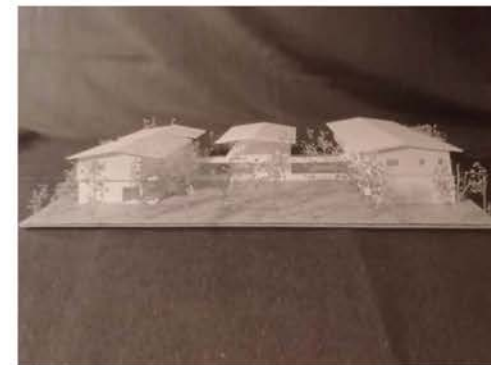


庭に溜まった水を汲出して助けてくれる子ども達

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に心から感謝も申し上げます。日本は40°Cで非常な暑さというニュースを聞きながら、ここ首都ルサカでは地域的に降雪があり、非常に寒い日々を送っています。現在7年生が11月に行われる全国統一試験に向けて猛勉強中なのですが、少し不安でナーバスになっているようなので、あれこれと精神的なサポートを続けているところです。さて、この7年生が、8年生に進むための受け皿として、8月には中高等学校(8-12年生)の建設が始まる予定でいます。全部で3棟(図書館、キッチン・食堂、PCルーム、オフィス、シェアハウス等含む)の内の1棟だけなのですが、残り2棟の建設資金が3千500万円程、また、その他の設備投資等に300万円程が今後必要になります。2019年10月に、わずか10人の孤児たちの支援から始めて以来3年で、このように事業を拡大する事ができている奇跡に感謝します。また、皆様のご支援なくしては不可能なことでした。どうかこれからもお力添えをお願いいたします。



建設する学校の模型

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

フィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援ご協力を心から感謝致します。皆様の温かいご支援によって、厳しい環境にいる子どもたちに、学校教育を受ける機会が与えられています。2021年~2022年の学年も終わろうとしています。今年度も就学支援生全員が無事進級試験に合格し、次の学年に進めることになりました。子どもたちを支えて下さっている皆様に、このような良い報告が出来ることをとても嬉しく思っています。コロナの影響で、通常の学校生活が出来ない1年でしたが、子どもたちはオンラインとモジュールの授業に真摯に取り組む、熱心に勉強し、良い成果を得ることが出来ました。2022年~2023年の授業の開始時期はまだ決まっていますが、来年度も皆様のご支援ご協力を頂きますよう、よろしく申し上げます。皆様のご家族、お仕事が豊かに祝福されますように、皆様のご支援、ご協力をどうかよろしく申し上げます。



カタルナン・ベクウェーノで行われた12年生の進級式

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様の温かいご支援を感謝いたします。ブラジルではついに冬に入って、全く雨が降らなくなりました。しかしコロナが始まって以来、自然生態系が回復したからか、気候も以前のような厳しさがなく、空気が非常に乾燥しているということもなく、とても過ごしやすくなりました。先日は3回目のコロナワクチン接種に行きました。3回ともファイザー製でしたが、1回目の副反応はチクツとただけ、2回目は腕や首、肩が痛くなり、少し呼吸困難のような症状が出て、3回目は一番重く、体のだるさで1日寝込みました。また2年間ずっと行けていなかった健康診断に行きました。この住まいに引っ越してすぐコロナに入ってしまったので、最寄りの政府系医療機関に行けていませんでしたが、やっと初めて行くことができました。担当医の先生も良い方で、検査の結果を見て「最良」と言ってくださいました。最後にいつも子供たちの楽しそうな写真を送って下さっている市内の児童支援施設の担当者Tさんが、ブラジルの6月末の行事フェスタ・ジュニーニャの様子を教えてくださいました。皆様のさらなるご支援をどうぞよろしくお願い致します。



フェスタ・ジュニーニャのお祭りで、田舎風の服装でコスプレしたり、ダンスや牛の乗り物で楽しむ子供たち